

ふるさと都留のために市の仕事をいっしょに考えましょう！ 「市民参画による“事業仕分け”」を傍聴してみませんか？



今までの公共サービスは、行政が主導で行ってきました。これからは、市民が考え、市民が選び、市民が変えていく必要があります。市民と行政が担う公共サービス「新しい公共空間」の形成に向け、地域協働、アウトソーシングなどの選別を目的とした「市民参画による“事業仕分け”」に取り組みます。

次の日程により公開で事業仕分けを実施します。

日 時 10月5日(日)午前8時30分～午後4時終了予定

※時間が多少延びる場合もありますのであらかじめご了承ください。

場 所 市役所3階 大会議室

対象事業 20事業(事務事業評価323事業から、市民などからの提案を参考に選考します)

実施方法

(1)事業仕分けの体制

1班7名体制(評価者5名・コーディネーター1名・書記1名)の2班構成で、各班10事業ずつ行います。

※評価者にはプロの仕分け人が入ります。

(2)仕分け方法

市民の皆さんの公開のもと、1事業30分程度で仕分けを実施します。評価者5人が1事業ずつ、まず「不要」・「必要」を判断します。

「必要」の場合は

- ◆民間などへ移行
- ◆県や国へ移行
- ◆市の仕事だが見直しをする
- ◆市の仕事として現状推進

これら4つに仕分けを行い、多数決により仕分けを決定します。

一般市民評価者は仕分け作業を傍聴し、その議論を参考に「市民の目」として仕分けを行います。

傍聴申し込み

当日は、自由に傍聴できますが、資料準備のため、9月30日(火)までに、電話、FAX、メールなどで事前に申し込みください。※入退場は自由です。



“事業仕分け”した結果は、どう反映されるのですか？

仕分け作業は、市民と行政が担う公共サービス「新しい公共空間」の形成に向けた前提作業と位置付け、地域で出来ることは地域で、民間で出来ることは民間でという様に振り分けられ、スリムで効率的な行財政経営と、質の高い市民サービスの提供を目指すことにつながります。また、職員が気付かなかったことが発見でき、事務改善にもつながります。ただし、仕分け結果が最終判断ではないことに留意ください。

